

「ワクチン、検診で予防を」

倉吉、中部医師会「子宮頸がん」学ぶ
フォーラム



講演などがあったフォーラム

22 12 7
県中部医師会（池田宣之会長）は、倉吉市山根の倉吉体育文化会館で「第5回中部住民健康フォーラム」を開いた。

「子宮頸がん」と予防ワクチンの話」をテーマに、あけしまレディースクリニックの明島亮二院長が講演した。

明島院長は、日本での子宮頸がんの発症や検診率の状況、予防ワクチンの接種などについて説明。「日本では、海外に比べて検診率が低い。定期的な検診とワクチン接種によって予防ができます。娘さんにはワクチン接種、お母さんは検診を受けましょう」と呼び掛けました。

シンポジウムも行われ、三朝町が中学生を対象に取り組みを行っているワクチン接種助成制度についてや、学校での授業の取り組みについて紹介された。